

# 令和5年度当初予算の概要

3月の定例議会で、令和5年度の一般会計と6つの特別会計および2つの企業会計の当初予算が可決されました。

一般会計当初予算は総額45億6,871万円で前年度当初予算額42億4,293万円と比較し、7.7%増となりました。

予算は一般的にその自治体の構想や行政方針を示す計画書ともいわれる重要なもので、町民の皆さんの暮らしに直接関係する大切なものです。そこで、一般会計の中身についてお知らせします。

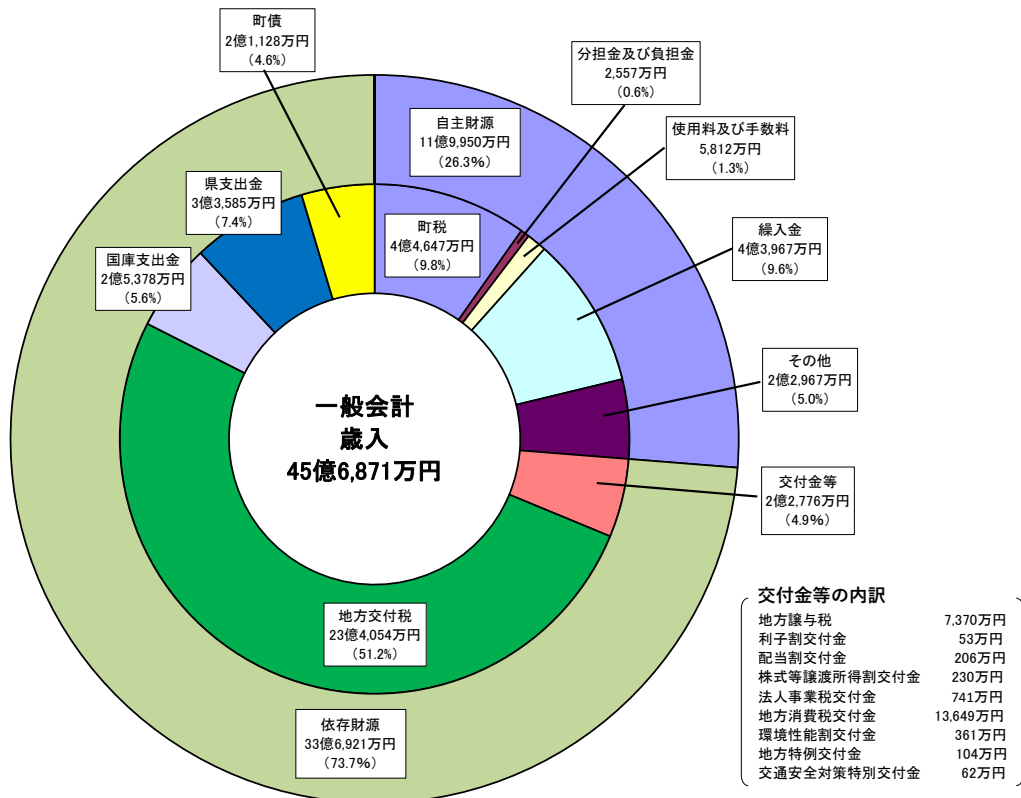
## 歳入について

本町が確保できる町税等の自主財源は、全体の26.3%しかありません。残りの73.7%を地方交付税や国・県補助金、町債を有効に活用することにより、歳入の確保を図っています。

自主財源のうち、町税は、収入見込減により4億4,647万円（対前年比1.8%減）を見込んでいます。

繰入金は、充当する歳出事業の増に伴い、4億3,967万円（対前年度比46.5%増）を見込んでいます。

一方、依存財源につきましては、歳入の半分以上を占める地方交付税は、総務省が公表している地方財政計画における地方交付税の伸び率や前年度決算見込を参考に23億4,054万円（前年度比4.4%増）を見込んでいます。



## 歳出について

主な性質別経費を見ると、人件費や扶助費、償還金である公債費等の義務的経費は20億3,569万円（前年度比1.7%減）で、全体の44.5%を占めています。

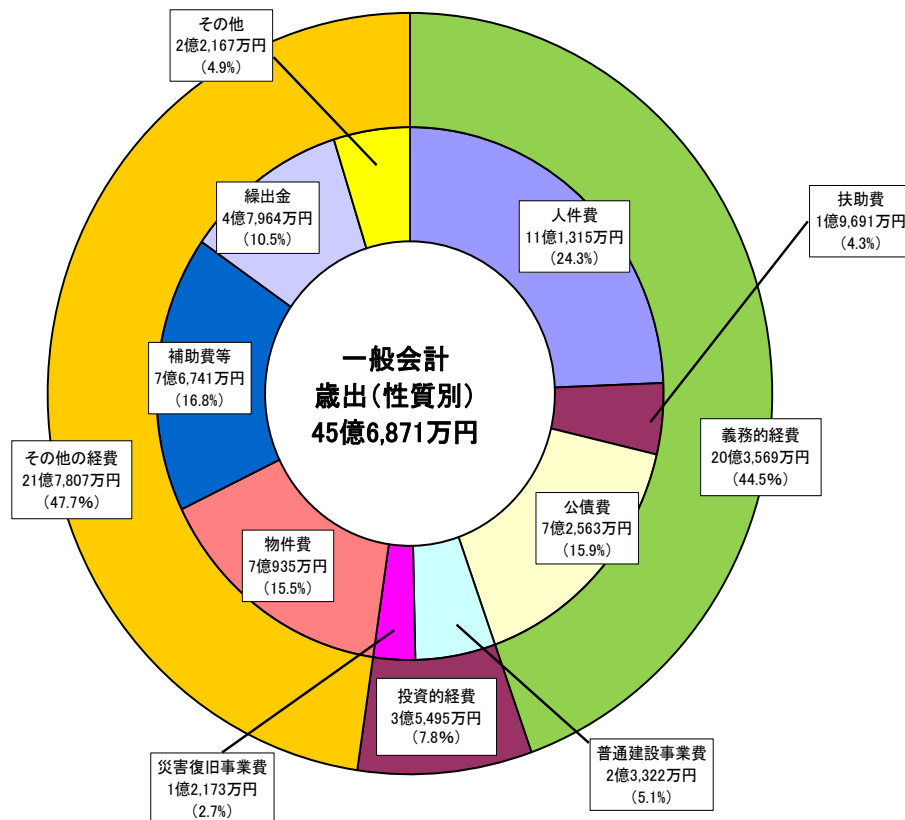
義務的経費のうち、公債費は、7億2,563万円（対前年度比5.3%減）となっています。普通建設事業費や災害復旧事業費の投資的経費は3億5,495万円（前年度比65.1%）で、全体の7.8%となっています。

投資的経費のうち、普通建設事業費においては、新規事業の総合運動場グラウンド野球場整備事業や社会資本整備総合交付金事業の事業増となっています。

災害復旧事業費については、現在施工中の日ノ浦地区の災害復旧工事において、追加施工が必要となる見込みとなるため、事業増となるものです。

また、一部事務組合や各種団体への負担金、補助金や特別会計への繰出金等の「その他の経費」は21億7,807万円、全体の47.7%となっています。

このほか、物価高騰の影響を受け、光熱水費等の経常経費が増加することが見込まれますので、年間必要額の見直しを行いました。



普通建設事業費などの財源として町が借入れる地方債現在高は下表のとおりです。近年、減少傾向に推移しておりますが、引き続き、厳しい財政状況は続きますので、的確な見通しのもと、健全な財政運営の維持に努めていきます。

このような状況の中、「第2期越知町版まち・ひと・しごと創生総合戦略」、第6次越知町総合振興計画に基づく、移住・定住対策、少子化対策、南海トラフ地震対策、産業の振興、雇用対策、中山間対策等や物価高騰対策等の喫緊の課題について、確実に対処していく必要があります。

限られた財源の中で、より大きな効果を生み出せるよう、国や県の動向にも注視しながら取り組んでいきます。

### 各会計当初予算前年度比較

会計別		5年度	4年度	増減
一	一般会計	45億6,871万円	42億4,293万円	7.7
特別会計	下水道会計	0	2億6,468万円	皆減
	国保会計	7億979万円	7億6,126万円	△ 6.8
	介護会計	10億6,020万円	11億433万円	△ 4.0
	後期高齢者会計	1億2,385万円	1億1,730万円	5.6
	土地会計	1万円	1万円	0.0
	蚕糸会計	26万円	25万円	4.0
	博物館会計	2,954万円	2,459万円	20.1
会企 計業	簡易水道事業会計	1億4,552万円	1億8,728万円	△ 22.3
	下水道事業会計	4億3,885万円	0	皆増
合	計	70億7,673万円	67億263万円	5.6

### 地方債現在高推移

